

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

高知県佐川町 高北国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
11,805	10,215	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
56	42	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	98
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
56	41	97

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和6年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

当院は、地域包括ケアシステムの拠点病院として、医療・介護の役割を担い、関連病院・介護施設・福祉施設と連携している。また、救急告示病院、災害救護病院として認定されている。在宅療養支援病院として、医療サービスと在宅生活を支える介護サービスを一体的に実施できるケアミックス機能の更なる充実に加え、感染症対策においては、県、他医療機関等と協力し対応しており、高吾北地域唯一の公立病院として、重要な役割を担っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度から①経常収支比率が100%を下回り、令和6年度は赤字幅が増加し非常に厳しい経営状況となった。主な原因としては、人件費の上昇、物価等高騰の影響で費用が増大し、平均値を上回っているが④病床利用率も下がり、収益減費用増となった。効率性は、注射、投薬、検査等が包括になる地域包括ケア病床と療養病床が全病床の約6割を占めること、手術件数が少ないことで、⑤入院患者1人1日当たり収益と⑥外来患者1人1日当たり収益は平均値と比べて低くなっているが、④病床利用率が平均値を上回っていることで、低単価を補っている。⑦職員給与費、⑧材料費、の対業収収益比率は、平均値と比べ低く抑制されている。

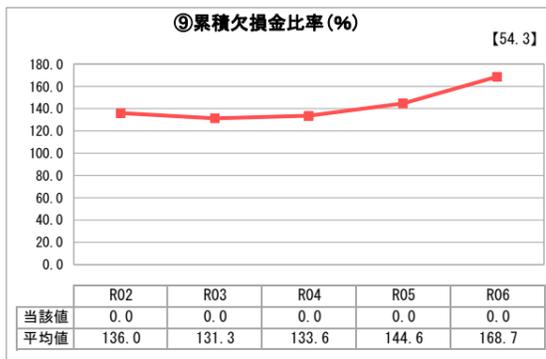
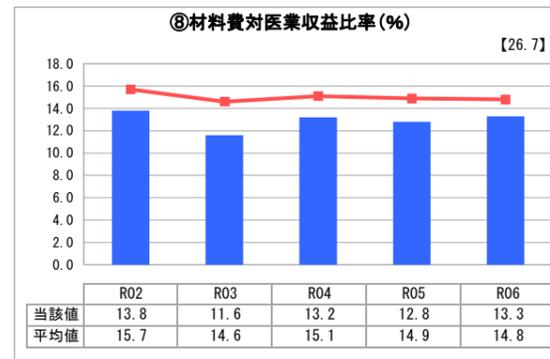
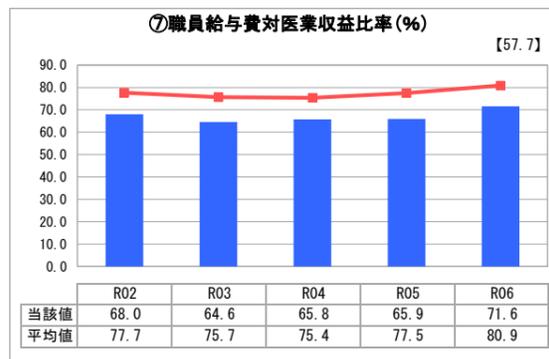
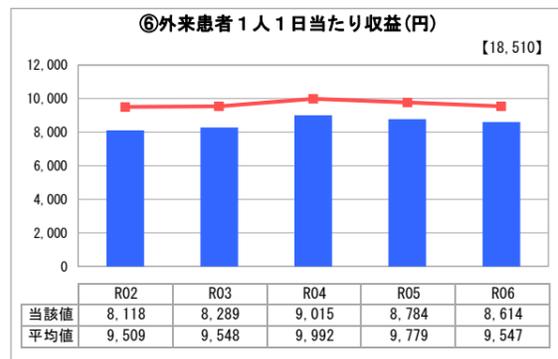
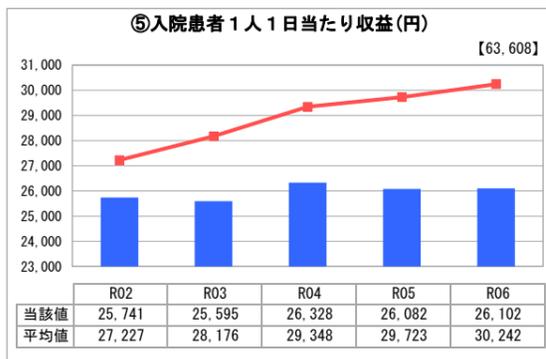
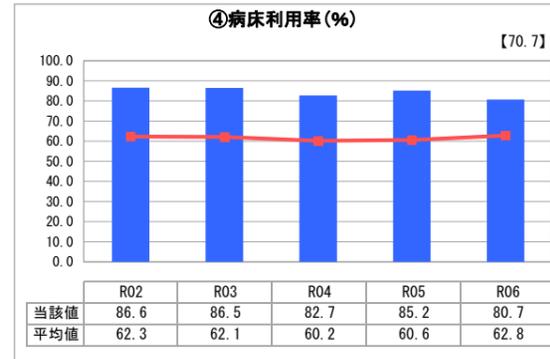
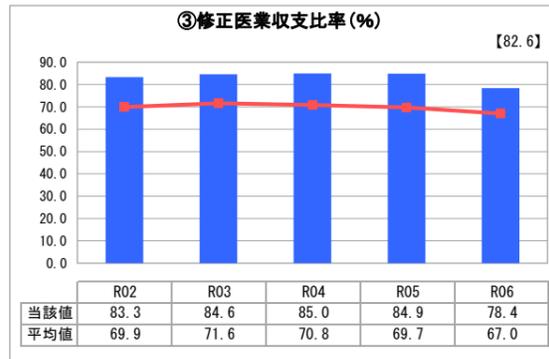
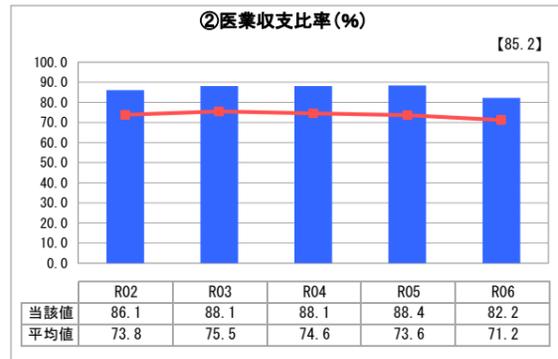
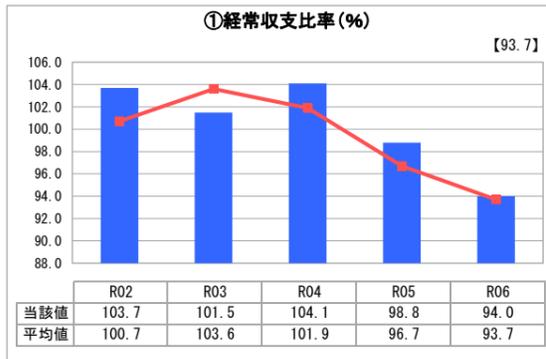
#### 2. 老朽化の状況について

医療機械備品等は計画的に更新を行っているが、有形固定資産の減価償却率、器械備品減価償却率共に上昇傾向にある。③1床当たりの保有有形固定資産については平均値より低く、過剰な投資は抑えられている。耐震化工事から10年以上経過し、新設や更新した施設・医療機器等も経年劣化していくので今後も引き続き計画的な改修、更新等を実施していく。

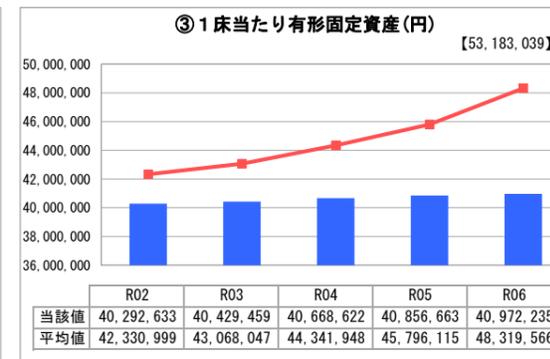
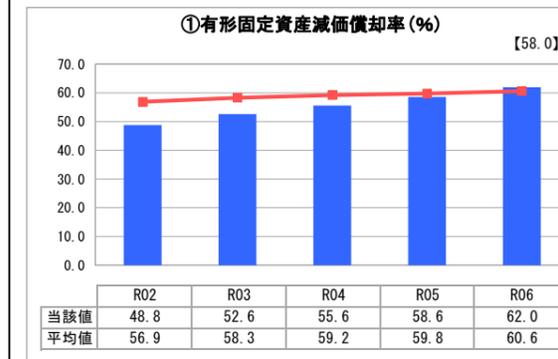
#### 全体総括

当院の各種指標は、平均値と比較しても健全傾向ではあるが、近年の公立病院の経営状況は非常に厳しく、経常収支比率、業収収支比率、修正業収収支比率の平均値自体が悪化している。令和6年度以降も、公立、民間を問わず病院を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあるが、地域の医療ニーズに応え、地域を支える公立病院として良質な医療を安定して提供できるよう努めていく。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。